

『野宿生活者問題と釜ヶ崎』(中編)

【生徒感想文より抜粋】※()内は「野宿生活者に対して自分にもこんなことができる」という問い合わせに対する回答

- ・野宿生活は大変と思った。
- ・自分たちがどれだけ恵まれているか分かった。
- ・大変だと思った。野宿生活者の人たちが簡単に働けて、給料のいい仕事が大手の会社を中心にできたらいいと思った。(差別をなくしていきたい)
- ・新聞記事の資料(野宿生活者襲撃事件の記事)を見たときはビックリした。そのようなことがあることはあまり知らなかった。差別や偏見はいけないと思った。この学習をして、いろんなことを知った。(差別や偏見はいけないことだと伝える。)
- ・野宿生活者の方が大人や子どもから蹴られたり、放火をやられていることを初めて知りました。野宿生活者に対して、差別や偏見を持っている人が多いと思う。だから少しでも差別や偏見を持つ人が少なくなってほしいと思う。(夜回りの活動に参加をしてみたい。)
- ・野宿者も好きで仕事を辞めていないことと、社会のまなざしを無視できないこと、そして病気になっても保険がおりないということもわかった。でも、日本だけじゃないことも、ニュースとかで知っている。例えば、フィリピンでは富裕層の生活だが、貧しいところは本当にひどいらしい。驚いたことは(襲撃の)「的」になっていることです。(仕事を紹介したい)
- ・なぐられるなどで、人が殺されるという事が起る時点で「ちょっと人間終わってるな」と思った。始めは野宿者が絡んだりしているのかなと思っていたけど、逆の立場なんだなと思いました。(自分だけでも正しい考えを持つ)
- ・DVDに出ていた鈴木さん、救急車を呼ぶか呼ばないかだけで一人の人生がめっちゃ変わって、そのまま仕事を続けろと言った人は何を思ってそう言ったのかわからん。その人はこれから鈴木さんが生きていく為のお金を払えるのかって聞きたい。あと、鈴木さんが高校生4人に襲われてどう思いましたか。って質問に「根っから悪いやつはおらん」「恨む気にはならない」って言ったことに感動した。自分だったら絶対にそんなこと思えない。(野宿生活者の人たちが働ける場をもっと作ればいいと思う)
- ・働いているときに、救急車を呼んでもらえなくて病気のせいで、仕事ができなくなつてほんまにかわいそうやと思った。一日中歩いて、いっぱい段ボール集めても1000円もなくて、お金稼ぐのは大変なことやなって思った。
- ・野宿者の人が、どんな気持ちで生活しているのかもわかったし、お金稼ぐのも大変やし、いろいろと分かった。野宿者の人がみんな幸せに暮らせたらいいなって思った。

- ・今まで自分の目で見た人たちはみんな、髪の毛とかがボロボロで、きたないと思っていたが、DVD に出てきた人たちはその人たちよりもまだきれいだから何も思わなかったけど、同じホームレス同士をそう思うのは今振り返ってみて、差別だったんだと気付いた。(仕事を与えてあげてほしい。ホームレスの人たちにも家を与えたい。)
- ・とてもみんながんばっていて、段ボールをいっぱい集めて、少ないお金でもとても大事にしていた。月に数回の仕事をして、それでやりくりしているところがすごかった。
- ・ホームレスの人も好きでこんなんやってるんじゃないんだなあと思った。(しゃべりかけて、はげましてあげる。)
- ・もともと悪いイメージは持っていたし、昔わんこを連れたおっちゃんと話したりしてたなって思い出した。(話聞いたりしてコミュニケーションをとったりする)
- ・野宿生活者には、身内がいない人やけがや病気などで働けなくなった人が多いんだなあと思った。それから、段ボールは売れるんだと知った。(募金活動)
- ・野宿者もがんばっているなあと思った。そういう人たちに卵を投げたり、殴りかかったりするのはおかしいと思う。何でそういう事するのかなと思う。やってる人はどういう気持ちでしているのか知りたい。こういう事をしている人は人間としてダメだと思う。ちゃんと考えてほしい。野宿者にとっては絶対に怖いと思う。迷惑かけてると思うけど、悪い事はしてないと思う。だから、やめたってほしい。あと、国もちゃんと考えてほしい。国のせいでもあると思う。政治家はこのことについてどう思うのか。(空き缶集め)
- ・がんばって働いてるんやなーと思った。生卵とか投げられるんとか、めっちゃかわいそうやと思った。
- ・仕事をしたくてもないから、大変だなと思った。
- ・ずっと寝てるイメージがあったから、仕事をしているという事に驚いた。好きで野宿生活をやっていないのは分かったけど、その問題を解決する方法がまだ少ないとと思う。ホームレスになってみたいというわけじゃないけど、ホームレスになったら、ご飯のありがたみとか、衣服のありがたみとか、学べると思うし、心優しい人になれると思う。
- ・理由があったり、大変な生活をしているというのは分かったし、何かできたらいいなと思ったりもするけど、たぶん何もできひんし、こわいって思う気持ちは消えへんと思いました。それでも、がんばって生きてほしいとは思います。
- ・消防員という安定した収入をもらえる職業にも関わらず、それをやめ、現在ホームレスになっているという事実はすごく意外だった。
- ・偏見とか差別とか、すごくつまんない。襲撃とかしてなにになるんだろう？楽しい？満足感？ヒーローにでもなったつもり？結局最後はこうかいするだろうに、自分を責めるだろうに、何もないのに、空っぽになるだけなのに、そんな事したら我が身が滅びるだけだろに。本当意味わかんない。